2018-2019 年度　第 1778 回例会
宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：田中正夫　幹事：磯貝　太　広報委員会リーダー：若林博純
例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ≪水曜 12：30≫
事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内
TEL：028-635-5511（ホテルニューイタヤ）

7 月　第 1 例会
2018 年 7 月 4 日(水)　　会員数 53 名　出席 34 名

司　会　　中野　智之　S.A.A

- 国歌斉唱「君が代」
- ロータリーソング「奉仕の理想」

ビジター紹介　　川又　俊治 親睦委員長

- 第 2550 地区第 3 グループ B ガバナー補佐・宇都宮陽東 RC
  橋本 正行 様

会長の時間　　田中　正夫 会長

こんにちは、今年度の会長を勤めさせていただきます田中です。よろしくお願いいたします。例会を月 3 回にしてそのうち 1 回を夜間にするということについていろいろとお騒がせしています。

このあとの会長方針の中でお話いたします趣旨を、なにとぞご理解いただきまして、７月１８日の第３回例会におきまして、多数のご賛同をいただきたいと願っております。よろしくお願いいたします。

また、橋本正行ガバナー補佐にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。１年間のご指導、よろしくお願い申し上げます。

本日の例会が、少しでも皆様のお役にたてますことを願いまして、会長の挨拶とさせていただきます。

第 2550 地区第 3 グループ B ガバナー補佐 挨拶

第 2550 地区第 3 グループ B
橋本正行ガバナー補佐

2018-2019 年度第 3 グループ B ガバナー補佐を仰せつかりました。
ガバナーの年間方針目標を達成するために、情報を提供して行くことが努めであります。地区とクラブが発展するよう 1 年間努めて参ります。
どうぞよろしくお願い致します。

記念品贈呈

§ 前年度会長幹事に記念品の贈呈がございました。

7 月のお祝い事　　小保方　明美 親睦 副委員長

§ **入会記念**　喜内敏夫会員・小塚照夫会員・荻原英美会員・鈴木秀明会員・関　享一会員
坂本昭一会員・菅野孝祠会員・田島久夫会員・若林博純会員・佐々木隆会員
坂井俊司会員・物井栄三郎会員・鍋島勝子会員

§ **会員誕生**　高久和男会員・佐々木隆会員

§ **夫人誕生**　荻原英美会員・高久和男会員

§ **創立記念**　田村一夫会員（有）タムラ商会
佐々木隆会員 佐々木隆税理士事務所

§ **結婚記念**　佐々木隆会員

幹事報告　　磯貝　太 幹事

§ 2018-2019 年度委員会編成表をレターボックスに配布
§ 永井中央ロータリークラブより、お礼状が届いております。（回覧）
§ ロータリーリターン RI 参加募集のご案内が届いております。（回覧）

スマイルボックス委員会報告　　長谷川　博夫 委員長

§橋本正行様　第2550地区第3グループBガバナー補佐・宇都宮陽東RC
田中会長、磯貝幹事1年間よろしくお願いします。伊東年度を支えてください。
§田中正夫会長　1年間よろしくお願い致します。橋本ガバナー補佐、ご指導よろしくお願い致します。
§藤島　拓副会長　田中会長、磯貝幹事1年間よろしくお願い致します。
§磯貝　太幹事　皆様1年間よろしくお願い致します。ここまで来たらやるしかない、記憶に残る幹事を演じて見せます。
§坂本昭一会員　田中会長、磯貝幹事1年間頑張ってください。
§若月章男会員　田中会長、磯貝幹事新年度スタートです。今年1年よろしくお願い致します。
§笠原正人会員　田中年度大改革のスタート。会長はもちろん、磯貝幹事ご苦労様です。幹事の手腕に期待します。
§村上芳弘会員　田中年度が素晴らしい年度になりますように。
§塩田　潔会員　田中会長、磯貝幹事1年間頑張ってください。大いに期待しています。よろしくお願い致します。
§仲田俊夫会員　田中年度の出発おめでとうございます。1年間ご指導よろしくお願い致します。
§田中会長、磯貝幹事1年間よろしくお願い致します。田中丸出航を祝して。
（同一・類似内容文につき会員名のみ）
村田宏明会員・鈴木秀明会員・菊池　功会員・田島久夫会員・若林博純会員・関　享一会員
中野智之会員・山本敬三会員・嶋田辰雄会員・酒澤伸二会員・桑田豊豪・黒崎丈博会員
§大島スミ子会員　新年度、副幹事です。出席できるよう努力します。
§関　享一会員　入梅も明け夏本番に入りました!!!我がロータリークラブも早いもので 36 年の歳月が経ちました。私も本年度は頑張る覚悟ができるようにと一意専心の思いでおります。このような私ですが、今後とも皆様からのお力添えを戴きたく思います。皆様よろしくお願い申し上げます。
§長谷川博夫委員長　本年度スマイル委員長ですのでよろしくお願い致します。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました　　今週の金額　35,000円

クラブアッセンブリー

会長方針発表

2018-2019年度　田中　正夫 会長

私は、この宇都宮南ロータリークラブが大好きです。当クラブの会員で良かった！と心から思います。やめたいと思ったことは一度も有りません。私個人は、自由でやわらかい雰囲気が好きです。わがクラブにはそれがあると思います。

今年度のバリー・ラシンＲＩ会長が掲げられましたテーマは、「インスピレーションになろう」です。ロータリークラブは、１１３年前の創始者ポール・ハリスのインスピレーションから始まりました。「ロ

ータリーは今も、そしてこれからもずっと、ポール・ハリスが思い描いた団体であり続けます」とＲＩ会長はメッセージに書かれています。

伊東永峯ガバナーは、今年度がポール・ハリス生誕１５０年の年に当たるということから、彼のインスピレーションを探る努力の必要性を強調され、ロータリーの原点の再確認を求めていらっしゃいます。

ポール・ハリスは、１９０５年にロータリークラブを創立しました。当時のアメリカ、特に創立地であるシカゴのビジネス環境が、どのようなものであったかを想像してみましょう。ヨーロッパの植民地から独立してから 120 年ほど過ぎて、自由主義を理念として経済成長を続けてきたアメリカの大商業都市がシカゴです。無秩序に私利私欲を追求するのが当然であったかもしれません。彼は大都会シカゴではなく小さな田舎町で生まれ育ちました。小さな子供のときに親は破産してしまいましたので、祖父母に預けられて育ちました。祖父母は裕福で教養のある人たちでしたので大学に進学したのですが、祖父の死去によって、経済的理由で退学し、働きながらロースクールを卒業して弁護士資格を取得しました。その後の 5 年間、実にさまざまな職種の職業体験、それもアメリカ各地にとどまらず、イギリス、キューバ、ベルギー、イタリアなどの外国への出張も経験したようです。その後にシカゴで弁護士を開業しました。当時のシカゴは犯罪、汚職、暴力の巣窟で悪徳商法が横行していたようです。祖父母から、他人に対する思いやりや尊敬の念の尊さを学んでいたのに加えて、この 5 年間の尊い経験から、職業と奉仕と親睦の意義を強く感じたようです。インスピレーションを得たのです。そこで、同じような価値観を持つさまざまな職種の友人達とともに創立したのがロータリークラブです。

ロータリークラブの原点は、多種多様な職業人の集まりです。私は、会員それぞれの職業活動を公明正大に行うことそのものが、ロータリアンが行うべき最大の奉仕であると考えています。これこそが職業奉仕です。職業人である会員に奉仕するのがクラブの役割であると考えています。クラブの活動が会員の職業活動に役立つことが大切であって、少なくとも「クラブの活動が会員の負担になってはいけない」と強く思います。そのための手段の一つとして、例会の回数を減らすことを考えました。時間的な負担の軽減が目的です。経済的な負担が増えないようにすることも目的です。

会費は下げませんが、夜間例会等の参加者負担金を軽減します。今後さまざまなものが値上がりしていきます。国際ロータリーへの分担金も上がりましたし、消費税も上がります。「だから会費を上げざるを得ない」ということは避けるべきだと考えています。

ロータリークラブを最も単純な一言で言うと何ですか？と問いかけた場合、「奉仕団体」という答が、一般の人たちだけではなく、ロータリアンからも返ってくると思います。「奉仕なのだから多少の負担あるいは自己犠牲は当然だ」という意見を聞くこともあります。それから、新入会員の勧誘を試みた場合に「自分には人に奉仕する余裕なんかない」あるいは、「奉仕などしたくない」という答が返ってくることがあるかもしれません。「奉仕などしたくない」というのは、「まずは自分の仕事をしっかりやりたい」という堅実な考え方の表現であるとも思います。それに対して、「ロータリークラブの会員になることが自分の職業さらには自分自身にプラスになりますよ」と言いたいのです。また、退会を考えている会員にもそう考えてほしいのです。

ここで、ロータリーの目的について触れてみたいと思います。「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育む事にある。」とされています。つまり、事業ないし職業の基本は奉仕であるということです。「奉仕」という言葉を簡単に言えば「人の役に立つ」ということだと思います。「人の役に立ちたい」という思いは人間の欲求のひとつであるともいわれています。自分の職業を一生懸命に行うことが、「人の役に立ちたい」という自分の欲求を満たして満足すること、あるいはそういう欲求がなくても、結果としてちゃんと人の役にたっているということ、これが奉仕の

理想であると考えます。

ロータリーの目的として第１から第４まで列挙されていますが、これは目的というよりも手段であるとも思います。究極的な目的は単純なほうが良いと思うからです。もう一度言います。自分の仕事をしっかりとやることこそがロータリアンが行うべき奉仕です。これが奉仕の理想です。ロータリー活動がたいへんで自分の仕事がおろそかになるようでは本末転倒です。

それから「四つのテスト」ですが、１番目の「真実かどうか」は「嘘・偽りはないか」と訳したほうが良いと思います。2番目の「みんなに公平か」は.「関係者すべてに公明正大か」と訳したほうが良いと思います。これは私のオリジナルではなく、10年ほど前のガバナー公式訪問のときに当時の近藤ガバナーがおっしゃっていたことです。現代のように価値観が多様化した社会では「真実はひとつ」とは言えなくなってきています。自分に不都合な真実は「フェイク」と切り捨てて自分好みの真実を強調する某国の大統領がいます。また、考え方や関心が近い「似たもの同士」がネットなどを通じて結びつき、狭い人間関係の中で「自分たちだけが真実である。」と主張する傾向も強まっています。それから、客観的な証拠があるにもかかわらず嘘をつき通そうとして、窮地に追い込まれる公務員や政治家やスポーツ指導者がいます。彼らは彼らなりの真実を追究しただけなのかもしれません。価値観が多様化した情報化社会では「嘘をつかない」という単純なことが重要になると思います。なぜなら嘘は間単にばれてしまいますし、冗談のつもりで言った一言二言がハラスメントになってしまうからです。四つのテストの２番目の「公平」という言葉については、「公正」という言葉にしたほうが、職業人ないし経営者にはピンと来ると思います。公正という言葉をより強調したのが公明正大という言葉だと思います。

ロータリークラブは、様々な職業の個性あふれる会員が集まり、会長も幹事も役員も、１年ごとに交代していくことに大きな意義があります。これからの１年間、私の思ったこと、考えたことを正直に表現しながら、会員の皆様のお役にたてますよう、努力してまいります。会員ひとりひとりが「宇都宮南ロータリークラブの会員で良かった！」と心から思っていただけるようなクラブ運営をめざしてまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

出席報告　　**村上芳弘 委員長**

会員数	53名	前々回	6月20日
出席数	34名	訂正率	63.04%
欠席数	19名		
出席率	73.91%		

例会予定

第1779回　　7月11日(水)
直前会長・幹事卓話
坂本昭一前会長・藤島　拓前幹事

プログラム

日付	時間	プログラム	例会場
第1780回 7月18日(水)	12:30～13：30	クラブアッセンブリー 本年度委員会事業計画	ホテルニューイタヤ
第1781回 7月25日(水)	12:30～13：30	クラブアッセンブリー 本年度委員会事業計画	ホテルニューイタヤ